

NEWS RELEASE

No.19-18

2019年11月22日

公益財団法人 損害保険事業総合研究所

2018 年度本科講座の成績優秀者を表彰

2018 年度本科講座（6 クラス編成）の修了認定を行い、各クラスの成績上位 10% の 68 名を成績優秀者として表彰した（成績優秀者は後掲）。本講座終了時の登録者数は 825 名、修了者数は 682 名で修了率は 82.7%であった。

さらに成績優秀者のうち各クラス上位 3 名（計 18 名）には「本科特別成績優秀賞」を授与することとしており、来たる 2020 年 1 月 14 日（火）に東京・大手町の KKR ホテル東京に於いて表彰式とともに昼食会・情報交換会を開催する。

本科講座は、損害保険の基本的・体系的な知識の習得を目的としており、通信科目 8 科目とスクーリングで構成されている。

最終カリキュラムであるスクーリングは、今年 7 月～9 月に東京の損保会館にて、各クラス 2 日半の日程で実施され、全国から計 815 名が参加した。

スクーリング試験科目の講義と試験の他に、特別講義「コンプライアンス」（中央大学法科大学院・野村修也教授）、「グローバルな時代と日本経済」（元慶應義塾大学教授・柏木茂雄氏）、「サステナビリティ・トランスフォーメーション」（法政大学人間環境学部・長谷川直哉教授）、「武器としての人口減社会」（OECD 東京センター所長・村上由美子氏）やワークショップを実施した。ワークショップは、慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科の講師陣を招き、「システム思考×デザイン思考でイノベティブに考える」をテーマに約 4 時間 15 分にわたる受講生同士のグループワークを通して闊達な討議や意見交換を行った。

約 1 年に渡る学習を終えて晴れて本科を修了した受講生より以下のような感想が寄せられている。

- ・ 現業の分野だけでなく、他部門の範囲についても体系的な知識の習得ができた。本科講座に真摯に取り組むことで、今行っている仕事では見えない損保会社の全体感が見えてきて、真剣に勉強したことで新たな視点も獲得できた。
- ・ 保険について深く考える機会となり大変有意義だった。知識の引き出しになったと思う場面もあり損保の営業社員として成長できたと感じる。

- ・スクーリングを通して他の保険会社の方と横のつながりができたり、仲間と切磋琢磨して乗り越えたり、よい経験を積むことができた。
- ・本科講座は日常業務において必要不可欠な知識を得ることができる貴重な機会だと感じた。後輩にも本気で受講するようにアドバイスをしている。

【2018年度本科講座の受講スケジュールおよび受講科目】

クラス	通信科目受講期間	スクーリング
A	2018年7月～2019年5月	2019年7月3日～5日
B		2019年7月17日～19日
C	2018年8月～2019年5月	2019年8月7日～9日
D		2019年8月21日～23日
E	2018年9月～2019年6月	2019年9月4日～6日
F		2019年9月18日～20日

通信科目：保険総論、損害保険市場論、保険契約法、保険業法、リスクマネジメント、再保険論、事故対応実務の基礎、海上保険論

スクーリング試験科目：金融の基礎知識、火災保険論、自動車保険論、新種保険論、損害保険会計

本件に関するお問い合わせ先

〒101-8335 千代田区神田淡路町2-9
 公益財団法人 損害保険事業総合研究所
 教育研修部 田中 TEL 03-3255-5512

この資料は、保険関係業界紙各社へ同時に配布しております。